

日本ロシア文学会主催

公開シンポジウム

ロシア文化

その魅力と鑑賞法

2017年7月8日(土) 14時～17時30分

場所：東京大学（本郷キャンパス）法文1号館113教室

予約不要
入場無料

どなたでも
ご来場頂けます

ープログラムー

開会の辞（14時）

野中 進（埼玉大学）

Part 1.

ロシア文学の鑑賞法（14時05分）

望月哲男（北海道大学）

『白痴』と『アンナ・カレーニナ』

貝澤 哉（早稲田大学）

「ナボコフ初期小説の楽しい読み方—
『カメラ・オブスクーラ』、『絶望』、
『偉業』、を翻訳して」

鳥山祐介（千葉大学）

「18世紀にロシア文学などあったのか？」

～ 休憩 ～

Part 2.

ロシアの文化力を知ろう（16時）

大野斉子（宇都宮大学）

「シャネルNo.5とロシアの香水史」

平野恵美子（東京大学）

「ラフマニノフと鐘」

～ 質疑応答 ～

閉会の辞

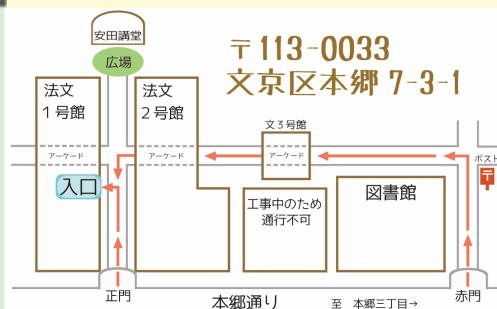
望月哲男

司会：八木君人（早稲田大学）

関連書籍の展示・販売があります

～ヨーロッパとは異なる文化を生み出してきたロシア。
世界を魅了する文学や芸術の多くが、帝政ロシア時代に創られました。
1917年のロシア革命で帝国は消え、しかし今なおロシアの文化は
不思議な力で私たちを引きつけます。
でもそれはなぜなのでしょう？
ロシア革命から100年の今年、いっしょにロシア文化の魅力とその
鑑賞法を考えてみませんか？～

後援： 岩波書店 河出書房新社 群像社 恵雅堂 講談社 光文社古典新訳文庫
作品社 水声社 成文社 東洋書店新社 白水社 勉誠出版 丸善出版
JIC 旅行センター ロシア旅行社 ナウカジャパン 日ソ 毎日新聞社



詳細： <http://yaar.jp.org/> (日本ロシア文学会)

問い合わせ： Email: gakkaikaku2017@gmail.com